

中部教育学会

第 66 回大会プログラム

2017（平成 29）年 6 月 17 日（土）

会場：福井医療大学

後援：福井県教育委員会

福井市教育委員会

【大会の日程】

9:30	受付開始
10:00	自由研究発表（全 4 分科会／4 階 401－404 室）
12:30	
12:30	昼食／理事会／休憩
13:30	総会（2 階・江上ホール）
13:30	
14:00	公開シンポジウム「世界の授業研究の動向から日本の教育を考える」 （2 階・江上ホール）
14:15	
16:45	
17:00	懇親会（1 階・食堂）
18:45	

大会実行委員長 森透（福井医療大学）
事務局長 木村 優（福井大学）
事務局次長 半原芳子（福井大学）

<お問い合わせ>

〒910-3190 福井県福井市江上町 55-13-1 福井医療大学
TEL：0776-59-2204（代）（森の携帯 090-8265-7228）
E-mail：t-mori@u-fukui.ac.jp

大会参加要領

1. 会場およびアクセス

※最寄り駅は JR 北陸線福井駅です。福井駅西口から路線バスが出ております。(乗車時間約 30 分、料金 540 円)。会場は駅から離れていますので、車でのご来場も歓迎いたします(駐車場の関係もありますので事前に事務局までご連絡をいただくと大変ありがたいです)。

*路線バス 2 番・福井総合病院線 8 時、8 時 20 分、8 時 30 分

*路線バス 3 番・鮎川線 8 時 35 分、9 時 13 分

2. 受付

・受付場所：福井医療大学 1 階ロビー

・受付にてネームプレート等をお渡しいたしますのでご記名の上お付けください。

3. 会費

・大会参加費：1,000 円 (会員も当日会員も共に参加費は同額です。)

・懇親会参加費：3,500 円 (事前申し込みの制度をとっておりませんので当日奮ってお申し込みください。)

4. 自由研究発表

・時間：個人発表—発表 20 分・質疑応答 5 分 共同発表—発表 30 分・質疑応答 10 分

※共同研究であっても口頭発表者がお 1 人の場合は「個人発表」となります。

・ノートパソコンはこちらで準備いたしますので、USB 等でデータをご準備ください。必要ならばノートパソコンもご準備ください。

5. 昼食・理事会・休憩室等

・昼食については土曜日のため学内食堂は営業していません。また、近くにコンビニにはありますが食堂等はありませんので大変申し訳ございませんが、各自で昼食をご準備するか、お弁当の事前予約をしてください (お茶つき 600 円)。お弁当を予約される方は、6 月 9 日 (金) までに事務局までメールまたは郵便で、氏名と所属、個数をお知らせください。当日食堂にてお渡しいたします。食事は各分科会会場、及び休憩室でお願いします。

・理事会は 1 階の研修室です。

・休憩室は 2 階の江上ホール前の 201 号室です。お茶・お菓子等を用意してあります。

・宿泊施設は各自で手配して頂きますようお願いいたします (福井駅近くに多くあります)。

6. 総会・シンポジウム

2 階の江上ホールです。

7. 懇親会

・1 階の食堂です。

<午前の部> 10:00~12:30 自由研究発表

【第1分科会】(4階・401号室)

司会者 三品陽平(中部大学)・上田敏丈(名古屋市立大学)

- ① 10:00~10:25 幼稚園におけるお泊り保育の実施状況
勝野 愛子(名古屋市立大学・大学院生)
- ② 10:25~11:05 教育現場(保育含む)における“非認知能力”の実践研究
○今井昌彦(浜松学院大学短期大学部) ○牧野純也(名古屋商科大学・非)
高野盛光(愛知産業大学短期大学)
- ③ 11:05~11:30 砂場における幼児のイメージの表出とその共有
大野 紘子(岐阜大学・大学院生)
- ④ 11:30~11:55 韓国幼稚園教育について
—『2016年度アラム幼稚園教育課程』を手がかりに—
○高野盛光(愛知産業大学短期大学) 今井昌彦(浜松学院大学短期大学部)
牧野純也(名古屋商科大学・非)

11:55~12:30 全体討論

【第2分科会】(4階・402号室)

司会者 豊田ひさき(朝日大学)・安達仁美(信州大学)

- ① 10:00~10:25 音声計算を活用した算数科授業づくり
小木曾 弘尚(愛知県豊田市立高嶺小学校)
 - ② 10:25~10:50 生徒が主体的に学ぶための授業の在り方
—数学Ⅱにおける教材開発実践を通して—
加藤信介(岐阜県立中津高等学校)
 - ③ 10:50~11:15 小学校英語の教科化と道徳の「特別の教科」化
広川由子(愛知江南短期大学)
 - ④ 11:15~11:40 性教育において「快樂追求としての性行動」を教えることは
必要/可能なのか?
佐藤年明(三重大学)
 - ⑤ 11:40~12:05 小中学校の英語入門期における speaking の指導
~Can-Do リストを用いた授業実践~
鈴木 真実(愛知県あま市立甚目寺中学校)
- 12:05~12:30 全体討論

【第3分科会】(4階・403号室)

司会者 広瀬信(富山大学)・川口洋誉(愛知工業大学)

- ① 10:00~10:25 戦後における東海地方の企業内学校教育の光と影
田中 卓也(共栄大学)
- ② 10:25~10:50 社会教育主事講習受講者の学びの成果に関する考察
浅野 秀重(金沢大学地域連携推進センター)
- ③ 10:50~11:30 大学への社会人入学に関するニーズ
一般市民への質問紙調査の結果から—
○今津孝次郎(愛知東邦大学) ○田川隆博(中部大学)
加藤潤(愛知大学) 白山真澄(東海学院大学)
長谷川哲也(静岡大学) 林雅代(南山大学)
- ④ 11:30~11:55 学校と大学と教育委員会の連携に基づく協働授業開発プロジェクトの
可能性と課題—小規模校の直面する課題の解決に向けて—
石川 英志(岐阜大学教職大学院)
- 11:55~12:30 全体討論

【第4分科会】(4階・404号室)

司会者 藤井基貴(静岡大学)・足立淳(朝日大学)

- ① 10:00~10:25 E. アイズナーの教育思想の基底に関する一考察
— M. ポランニーの「暗黙知」との関連性に着目して—
近藤 茂明(名古屋大学・非)
- ② 10:25~10:50 フランクフルト・オーダー教育アカデミーにおける教員養成活動
—新教育運動との関係に焦点を当てて—
藤井利紀(名古屋大学・大学院生)
- ③ 10:50~11:15 明治末期の第二高等学校生の生活 —阪谷希一・俊作の日記に見る—
伊藤真希(愛知淑徳大学・非)
- ④ 11:15~11:40 戦後改革期山梨県における公立大学設立運動
吉川 卓治(名古屋大学)
- ⑤ 11:40~12:05 日本語教師の初任期から熟練期への「二重の応答性」の発達
○康 鳳麗(鈴鹿医療科学大学)、森脇健夫(三重大学)、
坂本勝信(常葉大学)
- 12:05~12:30 全体討論

＜午後の部＞ 14 : 15 ~ 16 : 45 公開シンポジウム

(2階・江上ホール)

テーマ：世界の授業研究の動向から日本の教育を考える

世界授業研究学会(WALS)の精力的な活動に見られるように、日本で戦前から蓄積されてきた「授業研究」(Lesson Study)の歴史と財産は世界的に注目され、日本内外で広がりを見せている。授業は、子ども・教師・教材等の様々なダイナミックな関係の中で実践され、その研究も世界的な規模で展開されている。日本で近年、アクティブ・ラーニング(AL)が強調されているが、内実を伴わない危険性も指摘されている。さて、福井大会では、2017年11月に名古屋大学・福井大学を中心としてWALSの世界大会が開催される予定であるが、その準備段階として本学会のシンポジウムを位置づけたいと考えている。登壇者は以下の方々である。

* 基調提案&コーディネーター／木村優(福井大学)

日本の授業研究の現状を踏まえて、世界的な視野から日本のこれからの教育のあり方について提案する。

* シンポジスト／Elizabeth Hartmann (エリザベス・ハートマン／福井大学)

米国ワシントン大学における教師教育や授業研究を踏まえて、福井における授業研究や教育について自由に語る。

Pauline Ann Mangulabnan (ポーリン・アン・マンガラブナン／福井大学)

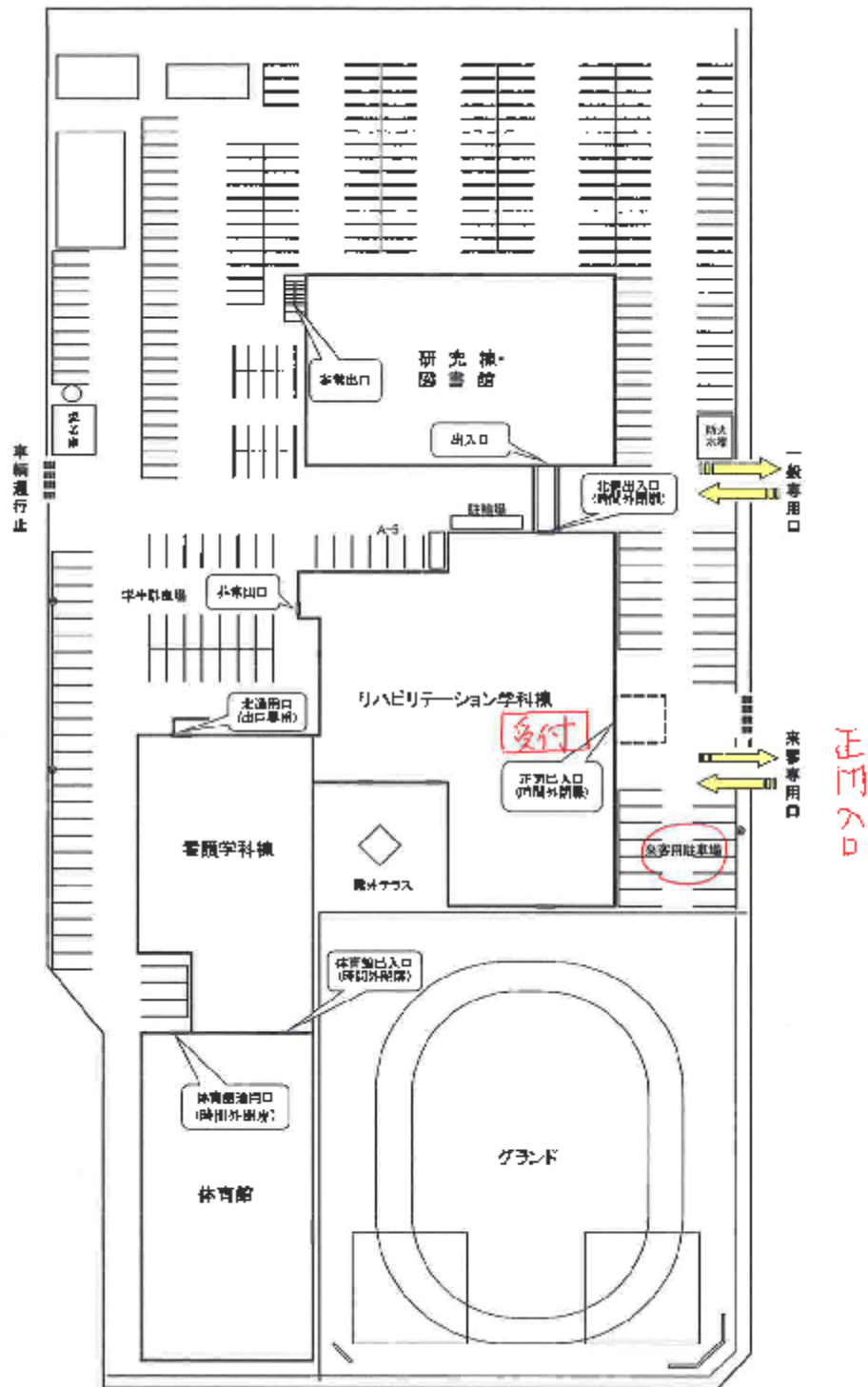
福井大学附属中学校をベースにした授業研究とフィリッピン・シンガポール等における教育を自由に語る。

三田村彰(福井大学／福井大学教育学部附属義務教育学校長)

福井大学教職大学院で福井県との連携を通してJICAとの橋渡しを担当。世界的な視野で日本や福井の教育について自由に語る。

* コメンテーター／石川英志 (岐阜大学)

◎通訳について：質疑応答と討論の通訳については、ダイクス久美子さん(福井大学英語科院生)が担当。





〈アクセス〉

- 福井駅西口バスターミナル②番①番のりばから約35分、「福井医療短期大学」下車。
- えちぜん鉄道三河原線「新田塚駅」下車、福井総合グリーク学習館から京福バス26系統福井総合病院線で「福井医療短期大学」下車。

学校法人 新山塚学園

福井医療大学 大学本部

〒910-3190 福井県福井市上町99-13-1
TEL.0776-39-2297 FAX.0776-39-2200

ホームページ

<http://www.fukui.ac.jp/top/fom.html>



E-mail (S.S.本部)

fukui@ac.kin.bigohe.ac.jp